

第 11 回長野千曲総合技術新校再編実施計画懇話会

日時：令和 8 年 9 月 10 日（木）

17 時 30 分～19 時

会場：篠ノ井交流センター 多目的ホール

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 自己紹介

4 会議事項

（1）「第 10 回長野千曲総合技術新校再編実施計画懇話会」まとめ

（2）長野千曲総合技術新校 学びのイメージ 意見交換

①「学びのイメージ」策定スケジュール

②「専門学科」や「総合技術高校」の学び

③ 新校の学びについて ご意見（まとめ）

④「学びのイメージ」 意見交換（グループワーク）

5 その他

6 閉 会

新校再編実施計画懇話会開催要綱

（目的）

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」（以下、「懇話会」という。）を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではないものとする。

（会議事項）

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- （1）学校像、教育方針等に関すること
- （2）校地・施設・設備等に関すること
- （3）管理運営等に関すること
- （4）教育内容等に関すること
- （5）その他、県教育委員会が必要と認める事項に関すること

（構成員）

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者（校長、教職員等）、地域の代表（自治体関係者、産業界の代表等）、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

（開催期間）

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

第11回長野千曲総合技術新校 再編実施計画懇話会 構成員名簿

	区分	座長◎ 新規○	氏名	所属等	役職等
1	自治体		川上 忍	長野市	副市長
2			丸山 陽一	長野市	教育長
3			小川 修一	千曲市	市長
4			蟹澤 友司	千曲市	教育長
5			塚田 常昭	坂城町	教育長
6	産業界		近藤 和紀	J Aグリーン長野 総合企画部	次長兼総務企画課長
7			福田 享士	株式会社システックス	常務取締役
8			矢島 隆生	フレックスジャパン株式会社	代表取締役社長
9			滝沢 秀治	滝沢食品株式会社	代表取締役社長
10	学識経験者		森下 孟	信州大学学術研究院教育系	准教授
11		◎	藤本 光世	元県立高等学校長	座長
12	地域		百瀬 秀樹	長野地域振興局	局長
13			海野 忠一	篠ノ井地区住民自治協議会	会長
14			香山 篤美	長野商工会議所松代支部	代表
15			赤地 憲一	千曲市	
16	同窓会		越 正至	更級農業高校同窓会	会長
17			細川 隆男	松代高校同窓会	会長
18			赤塩 曜子	屋代南高校同窓会	会長
19	P T A		宮寄 歩	更級農業高校 P T A	会長
20		○	吉池 隆一	松代高校 P T A	会長
21		○	竹内 あづみ	屋代南高校 P T A	会長
22			栗林 宏至	長野市 P T A 連合会	副会長
23			梶浦麻衣子	更埴 P T A 連合会	代表
24	小中学校等 関係者		祢津 賢司	長野上水内校長会 広徳中学校	校長
25			竹腰 益臣	更埴校長会 埴生中学校	校長
26			大石 卓司	稻荷山支援学校	校長
27	再編対象校		花岡 拓海	更級農業高校	農業クラブ会長
28			垂澤 和憲	更級農業高校	校長
29			高木二千翔	更級農業高校	教諭
30			畔上 真緒	松代高校	商業科代表
31			阿部 栄智	松代高校	校長
32			中澤 涼子	松代高校	教諭
33			塚田 幸菜	屋代南高校	ライフデザイン科代表
34			竹内 宏枝	屋代南高校	校長
35			星野 裕之	屋代南高校	教諭

【グループワーク参加者】

○更級農業高校 小山 槍駕 ○松代高校 中村 姫菜 ○屋代南高校 峯村 友萌
--

【事務局】

学校名	氏名			
更 級 農 業 高 校	丸山 暢之（教頭）	高木二千翔	北澤 晃	
松 代 高 校	山口 雅子（教頭）	宮林 正樹	中澤 涼子	
屋 代 南 高 校	犬飼 健一（教頭）	星野 裕之	土屋友紀子	

県 教 育 委 員 会	高校教育課 高校再編推進室	
	田中 聡	主幹指導主事
	竹前 操	主任指導主事
	宮嶋 直美	主任指導主事
	米澤 和真	主事
	学びの改革支援課 高校教育指導係	
	山崎 和也	2 指導主事

第10回 長野千曲総合技術新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日 時	令和8年5月11日（月）17時30分～19時									
場 所	千曲市役所 301 会議室 A および B									
出 席 （敬称略 ◎座長）	川上 忍	丸山 陽一	小川 修一	蟹澤 友司	塚田 常昭	近藤 和紀				
	矢島 隆生	滝沢 秀治	森下 孟	◎藤本 光世	百瀬 秀樹	海野 忠一				
	香山 篤美	赤地 憲一	越 正至	細川 隆男	赤塩 曜子	宮寄 歩				
	栗林 宏至	梶浦麻依子	祢津 賢司	竹腰 益臣	大石 卓司					
	垂澤 和憲	高木二千翔	花岡 拓海	阿部 栄智	中澤 涼子	畔上 真緒				
	竹内 宏枝	塚田 幸菜	星野 裕之							(以上 32 名)
欠 席 （敬称略）	福田 享士	池田 悌智	青木 健司	傍聴者	20 名（オンライン参加 0 名） 報道関係 4 社					
事務局	更 級 農 業 高 校 2 名		丸山教頭		高木教諭					
	松 代 高 校 3 名		山口教頭		宮林教諭		中澤教諭			
	屋 代 南 高 校 2 名		犬飼教頭		星野教諭					
	高校再編推進室 4 名		田中主幹指導主事			宮嶋主任指導主事			米澤主事	
			竹前主任指導主事							
	学びの改革支援課 なし									
当日資料	第 10 回長野千曲総合技術新校再編実施計画懇話会 資料									

会議事項

- (1) 「第9回長野千曲総合技術新校再編実施計画懇話会」 まとめ
- (2) 校地検討会議報告
- (3) 長野千曲総合技術新校 学びのイメージ 意見交換

主な内容(・発言概要 →県教育委員会)

<会議事項>

(1) 第9回長野千曲総合技術新校再編実施計画懇話会まとめ

○事務局から説明。意見・質問なし。

○第9回懇話会における、この地区の普通科に関わる意見について、県教委が回答。

→ 2023年1月策定の「高校改革～夢に挑戦する学び～」再編・整備計画[三次]で公表の通り、現在の第2期再編では、旧第4通学区の普通科は既存の長野南高校、篠ノ井高校、松代高校、屋代高校、坂城高校に設置する。

(2) 校地検討会議報告

○部会長より報告

第3回および第4回校地検討会議では、校地選定に関わる検討項目の整理や資料について意見交換を行った。今後は学びのイメージを含めた検討段階になっていく。懇話会で学びのイメージ策定をお願いしたい。(意見・質問)

- ・年度初めなので、校地検討部会構成員の報告を求めたい。
- 県教委が現在の校地検討部会構成員を口頭にて報告。

(3) 長野千曲総合技術新校 学びのイメージについて

○事務局より説明

変化の激しいこれからの時代を見据えた新校では、生徒が目指す自分像を描き、主体的に学ぶことのできる環境が求められていることから、「育てたい生徒像」を「目指す自分像」へと改め、生徒主体の視点で検討を進める。

新校が目指す大きな学びの方向性として「農業×商業×家庭科 深める・つながる・ひろがる学びで未来をデザイン!」が今までの懇話会で承認されている。

①生徒主体の視点を加味して検討した以下3つの「目指す自分像」事務局案を提案。

- *自らを律し、挑戦をいとわず、柔軟な発想で、新しい価値を創造し続ける「わたし」
- *自他を尊び、多様な価値観を受け入れ、個人や社会のウェルビーイングを追求する「わたし」
- *地域と産業に愛着と誇りを持ち、グローバルな視点を持って社会に貢献できる「わたし」

(意見・質問)

- ・地域農業への貢献を志して入学した経験から、「地域と産業に愛着と誇りを持つ」に共感した。スマート農業や機械化が進む一方で、基礎的な農業技術や知識をしっかりと学ぶことも重要だと感じている。
- ・ファッション分野では一人ひとりの個性を生かした作品制作を重視しているので、自らを律し、挑戦をい

とわず、柔軟な発想で、新しい価値を創造し続ける「わたし」に共感した。

- ・部活動で企業の方と関わった際の経験から、自他を尊び、多様な価値観を受け入れ、個人や社会のウェルビーイングを追求する「わたし」に共感した。
- ・提案された「目指す自分像」案は、「自立」「挑戦」「ウェルビーイング」などの視点を通して、これからの社会を見据えたまとまりのあるものと感じる。グローバルな視点に加え、地域に根差したローカルな視点も重要であり、その観点が盛り込まれている点を評価している。高校生が「わたし」という表現をどう感じるか、丁寧に検討すべき。
- ・清泉大学農学部との連携可能性や、地域産業として醸造や電子分野などが重要であることを踏まえ、こうした地域性や先端分野の視点のフレーズも取り入れることはできないか。
- ・目指す自分像を見つけるためには、専門学科に取り組む前提としての世の中を認識するための一般教養が重要であり、そのための教科の充実が必要ではないか。
- ・「目指す自分像」は、現代社会に合った非常に意義ある内容と感じる。地域との繋がり的重要性について、松代高校の事例報告のように、地域と連携した取組を進めることで学校の役割をより大きく果たせるのではないか。
- ・「目指す自分像」の基本的な考え方は適切だと考える。示された内容は生徒一人ひとりが自身の考えを整理するための基盤として活用されることが望ましい。表現がやや強い印象。「目指す自分像の姿」など、より柔らかい表現を加えることで、生徒が自分自身の考え方を整理しやすくなるのではないか。

②「深める・つながる・ひろがる」という学びの大きな方向性について意見交換。専門学科の学びについての視点だけでなく、新校と地域がどのような「深める・つながる・ひろがる」学びを展開できるか、それぞれの立場から発言。

○各校学校長からの発表

- ・総合技術高校においては、まずそれぞれの分野で生徒が専門性をしっかりと身に付けることが重要。その上で、自らの専門性を基盤としながら、他分野の学びに触れ、互いの知識や視点を結び付けていくことが総合技術高校の学びにつながる。当初から全てを一体化するのではなく、まず各分野の専門性を基盤とし、生徒一人ひとりが自信と責任を持って学ぶことが重要であり、その姿が目指す学びの方向性に合致する。
- ・家庭科は、まずは基礎をしっかりと身に付けることが重要であり、その上で特に「深める」学びを充実させたい。また、地域の伝統を大切にしながら持続可能な社会づくりにつながる学びを実現したい。さらに、企業や大学との連携による実践的な学びは重要であり、多様な価値観に触れ挑戦する力を育成する機会としたい。
- ・商業科では、地域と連携した探究的な学びを基盤に、農業科・家庭科との連携による6次産業化や価値創造に取り組みたい。また、学科横断型の「越境学習」を通した新たなビジネスリーダーの育成や、学校を地域活性化の拠点と位置付け、DXやデータサイエンスを活用した実践的な学びを推進したい。その上で、商業科は他学科や地域と連携し、新たな価値を創造する「プロデューサー」としての人材育成を担いたい。(意見・質問)
- ・果樹を育てる生産者の大変さを消費者に紹介できるような販売方法などを他科に考えてもらいたい。
- ・3つの科が合同になったら、生産者視点と消費者視点を結びつけた商品開発が可能になったり、合同商品開発など、より実践的な学びができるといい。
- ・(他科の生徒が)作業で使う服を制作することで、その学校らしさを世間に出すことができると思う。
- ・松代高校商業科が実践している、生徒による地元地域店舗の訪問や意見交換などの活動は、生徒の学びの深化にとどまらず、地域側にも変化や広がりをもたらしている。新校においても地域連携の取組を進めることで、学校の役割をより発揮できるのではないか。

◎座長まとめ

- ・提案された「目指す自分像」は承認。これをさらに具体化して次の懇話会につなげてもらいたい。事務局では今回のまとめとともに、新校と地域の産業等とのより具体的な繋がりを検討してほしい。

(4) その他

- ・今後の検討に際して、それぞれの専門科の具体的なカリキュラムや単位数、DXに係る授業や地域連携にかけられる時間等がわかるような素案をつくっていただきたい。
- ・校地に係る新聞報道について、千曲市に対しての質問があり、市が回答。
- ・懸念していた長野電鉄バスが存続したことについて、地域高校生が利用している現状報告と御礼、引き続きの支援願いたいと関係各所に要望。

農業 × 商業 × 家庭科

深める・つながる・ひろがる学びで、

未来をデザイン!



目指す自分像



- 自らを律し、挑戦をいとわず、柔軟な発想で、新しい価値を創造し続ける「わたし」



- 自他を尊び、多様な価値観を受け入れ、個人や社会のウェルビーイングを追求する「わたし」



- 地域と産業に愛着と誇りを持ち、グローバルな視点をもって社会に貢献できる「わたし」



長野千曲総合技術新校 学びのイメージ（事務局案）

農業 × 商業 × 家庭科

～深める・つながる・ひろがる学びで 未来をデザイン！～

目指す自分像

- 自らを律し、挑戦をいとわず、柔軟な発想で、新しい価値を創造し続ける「わたし」
- 自他を尊び、多様な価値観を受け入れ、個人や社会のウェルビーイングを追求する「わたし」
- 地域と産業に愛着と誇りをもち、グローバルな視点をもって社会に貢献できる「わたし」

目指す学校像（継続検討中）

- ・基礎学力と専門性を土台に自ら問いを立てて追求する学校。
- ・自分の興味や問いを大切にしながら、農業・商業・家庭科の専門を活かして探究していける学校。
- ・開かれた柔軟なカリキュラムを編成し、学科、学年の枠を越え、さらに社会や企業と協働できる学校。
- ・協働した学びを通して、挑戦と失敗を肯定する文化を根付かせ、創造性と柔軟性を育くむ学校。
- ・地域の伝統文化や産業に触れ、自ら貢献意識や郷土愛を育む学校。
- ・社会や世界に目を向け、地域の活性化につながる「リアルな経験」を重視する学校

新校の柱となる学び

A:課題解決型の学びの充実

- すべての生徒が行う地域探究
【】
- 専門科の学びを深める課題研究
【】
- 学科横断で取り組むテーマ探究
【】

B:産業や地域との連携授業

- 外部講師による多様な出前授業
【】
- 現場体験型学習や長期インターンシップによる実践的学び
【】

C:すべての学科共通したデジタル教育

- デジタルを、正しく・賢く・よりよく使うスキルや学び
【】

様々な学校活動

ミックスホームルーム

- ・3学科が混合した学級活動
- ・生徒主体の学級運営

地域・企業と連携した クラブ活動

- ・地域活動への生徒参画
- ・産業界とのコラボレーション

第11回 長野千曲総合技術新校 再編実施計画懇話会



学び応援キャラクター「ほろろなび」
©長野県教育委員会採用なび物

日時：令和8年9月10日(木) 17:30～
場所：篠ノ井交流センター 多目的ホール

1

◆長野千曲総合技術新校再編実施計画懇話会

【本日の次第】

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 自己紹介
- 4 会議事項
 - (1) 「第10回長野千曲総合技術新校再編実施計画懇話会」まとめ
 - (2) 長野千曲総合技術新校 学びのイメージ 意見交換
 - ① 「学びのイメージ」策定スケジュール
 - ② 「専門学科」や「総合技術高校」の学び
 - ③ 新校の学びについて ご意見（まとめ）
 - ④ 「学びのイメージ」 意見交換（グループワーク）
- 5 その他
- 6 閉 会



◆長野千曲総合技術新校再編実施計画懇話会

1 開 会

2 挨 拶

3 自己紹介



3

◆長野千曲総合技術新校再編実施計画懇話会

4 会議事項

(1) 第10回長野千曲総合技術新校
再編実施計画懇話会まとめ



4

◆長野千曲総合技術新校再編実施計画懇話会

4 会議事項

(2) 長野千曲総合技術新校

学びのイメージ 意見交換

①「学びのイメージ」策定スケジュール



学びのイメージ 策定スケジュール

新しい学校の中身

第7回: 情報教育
第8回: 情報教育
第9回: 設置学科の決定

学びのイメージ
完成

共通理解

第1回: 懇話会の趣旨説明
第2回: 総合技術高校
3校の学校・学び
第3回: 全国の先行事例
第4回: これまでの懇話会

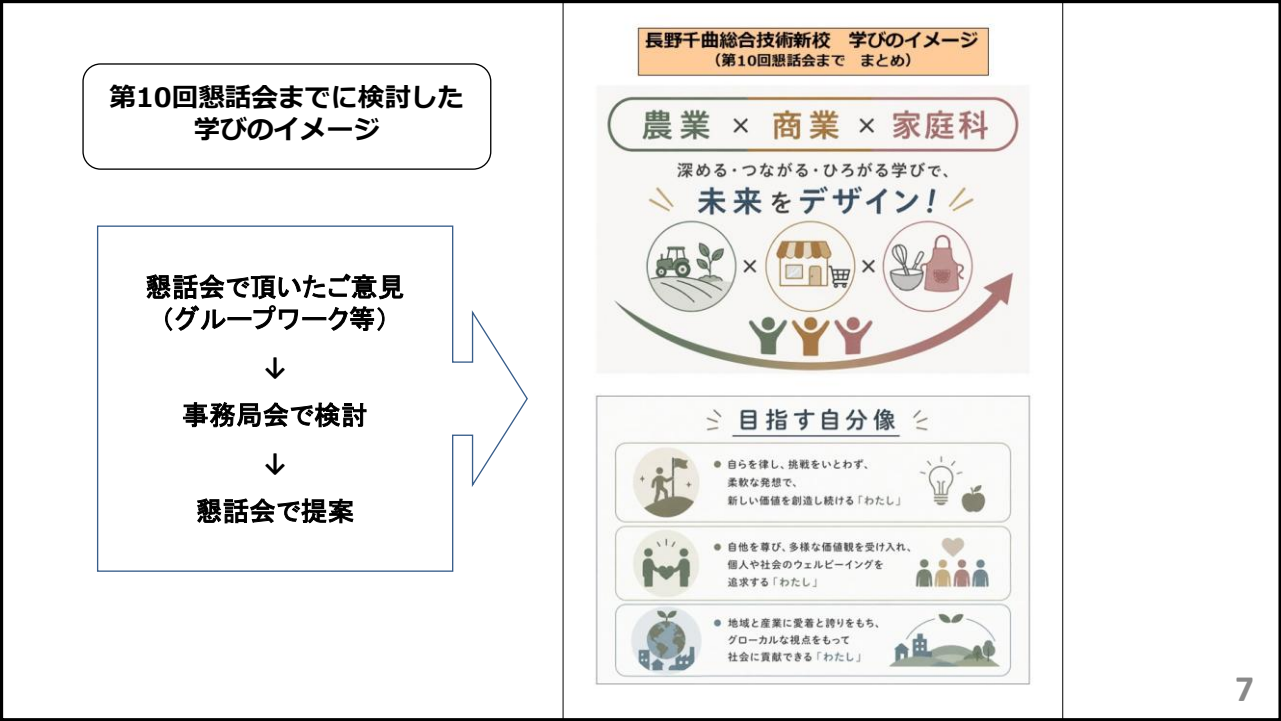
目指す学校像
目指す自分像

新しい学校の形

第10回: 学びのイメージ・目指す自分像
第11回: 学びのイメージ 意見交換
第12回～ 学びのイメージ
○再編実施基本計画の策定準備
活用する校地・校舎、募集開始(開校)年度、設置課程・学科及び開校時に 想定する募集学級数

第5回: 学校(学科)間連携
生徒像・学校像・ワクワクする学校
第6回: 生徒像・学校像とその手立て
第7回: 生徒像・学校像(事務局原々案)
第8回: 生徒像・学校像(事務局原案)





◆長野千曲総合技術新校再編実施計画懇話会

4 会議事項

(2) 長野千曲総合技術新校

学びのイメージ 意見交換

②「専門学科」や「総合技術高校」の学び



全日制高校の教育課程（例）

	月	火	水	木	金
1時限	1	7	13	19	25
2時限	2	8	14	20	26
3時限	3	9	15	21	27
4時限	4	10	16	22	28
5時限	5	11	17	23	29
6時限	6	12	18	24	30

1週間に
30時間の授業
↓
30単位

1週間に1時間の授業を1年間学ぶ
→「1単位」という



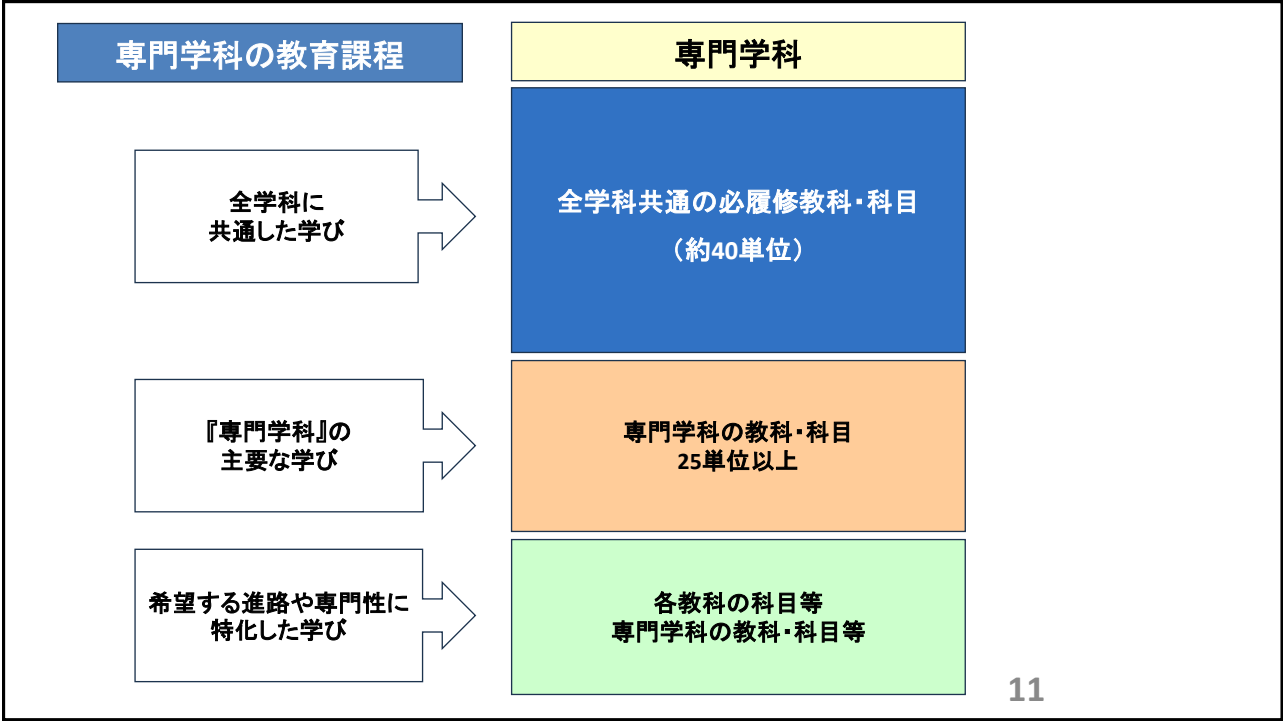
1年間で約「30単位」



3年間で約「90単位」

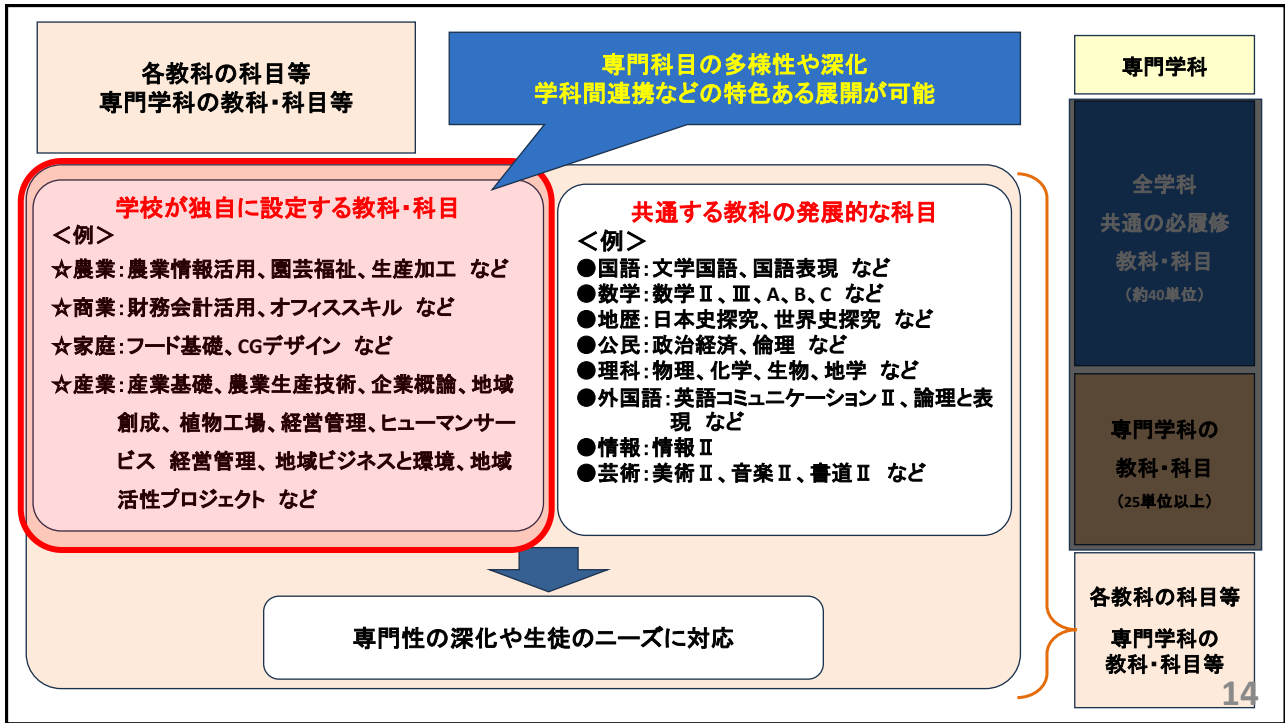
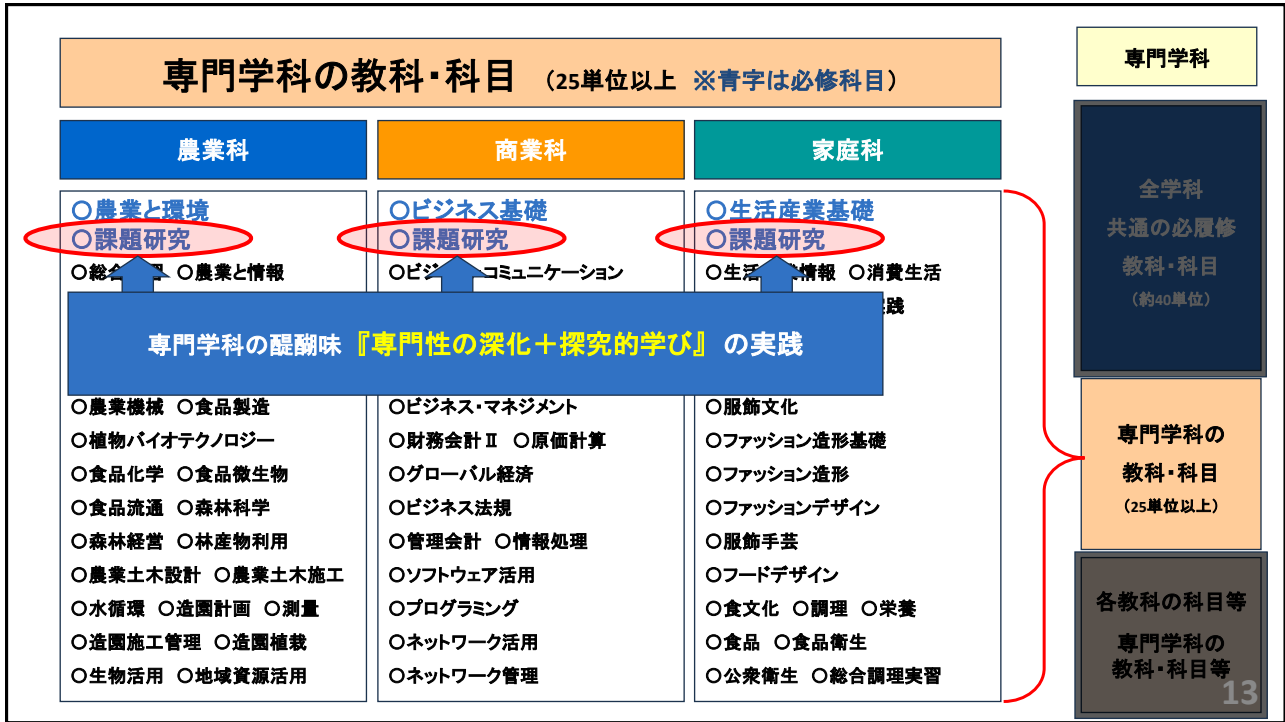
* 1時間の授業 = 50分

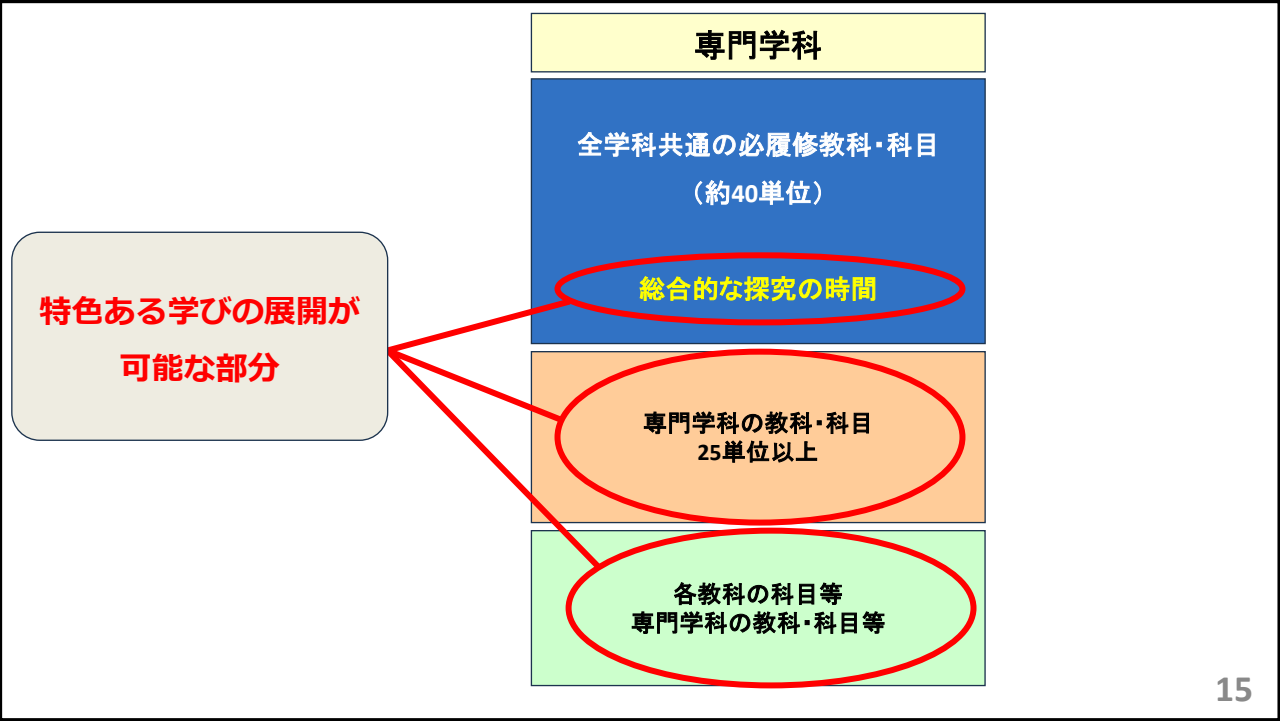
* 卒業までに修得させる単位数は、74単位以上（学習指導要領）



全学科共通の必修修教科・科目		専門学科
教科	科目(標準単位)	全学科 共通の必修修 教科・科目 (約40単位)
国語	現代の国語(2) 言語文化(2)	
地理歴史	地理総合(2) 歴史総合(2)	
公民	公共(2)	専門学科の 教科・科目 (25単位以上)
数学	数学Ⅰ(3)	
理科	化学と人間生活(2)および基礎科目のうち1つ(2) または 物理基礎(2)・化学基礎(2)・生物基礎(2)・地学基礎(2)から3つ	
保健体育	保健(2) 体育(7～8)	各教科の科目等 専門学科の 教科・科目等
芸術	音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰ・工芸Ⅰ から1つ (2)	
外国語	英語コミュニケーションⅠ(3)	
家庭	家庭基礎(2)または家庭総合(4)	
情報	情報Ⅰ(2)	
総合的な探究の時間(3～6)		学校ごとに特色ある “探究的な学び”を实践

12





15

◆長野千曲総合技術新校再編実施計画懇話会

4 会議事項

(2) 長野千曲総合技術新校

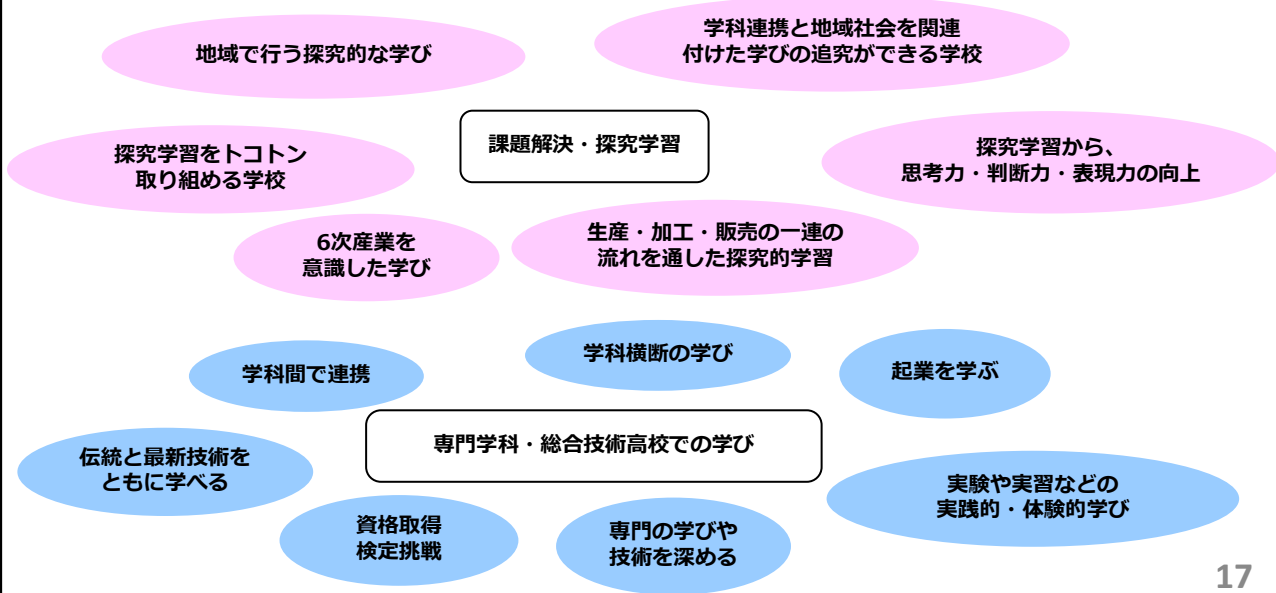
学びのイメージ 意見交換

③新校の学びについて ご意見 (まとめ)



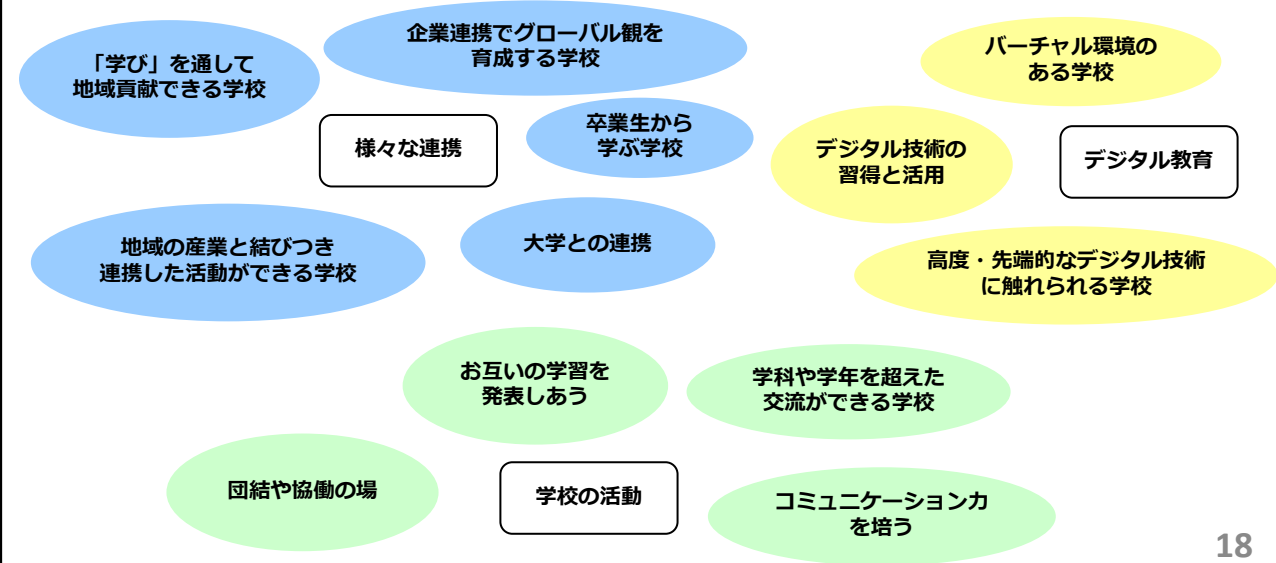
16

今までの懇話会（グループワーク等）でいただいたご意見・アイデア①



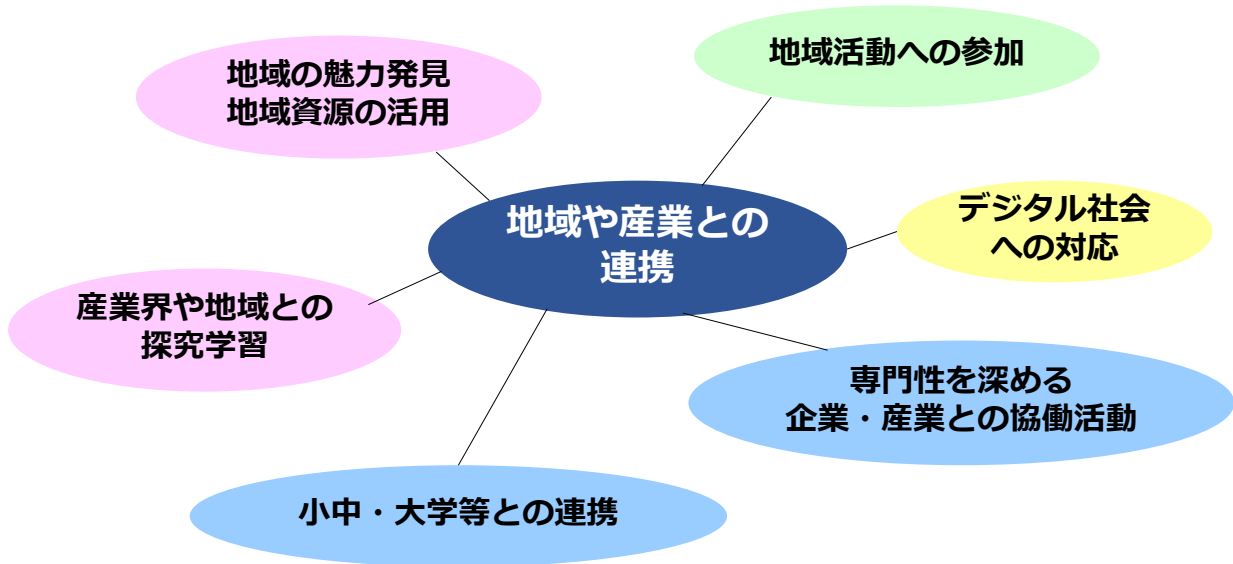
17

今までの懇話会（グループワーク等）でいただいたご意見・アイデア②



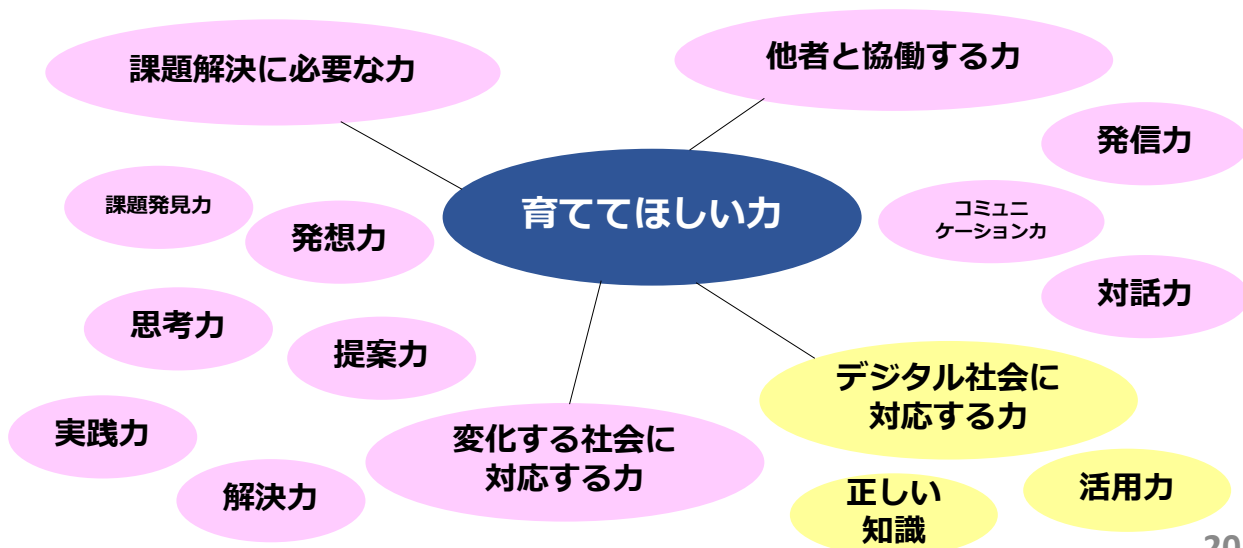
18

【産業界・地域より①】新校と地域や産業の“連携アイデア”



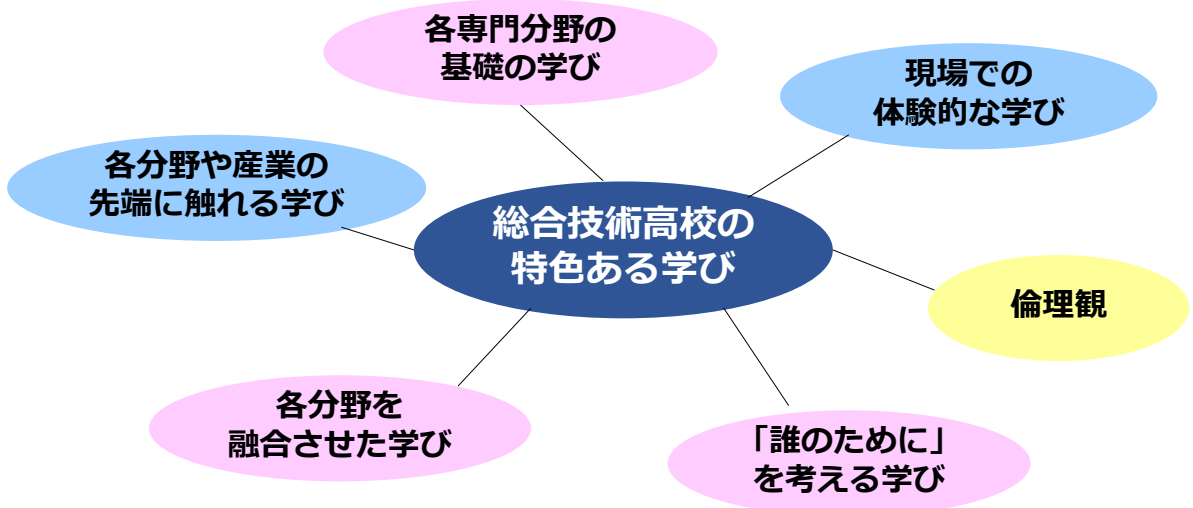
19

【産業界・地域より②】“学びのアイデア”：高校で育ててほしい力



20

【産業界・地域より③】“学びのアイデア”：総合技術高校の特色ある学び



21

◆長野千曲総合技術新校再編実施計画懇話会

4 会議事項

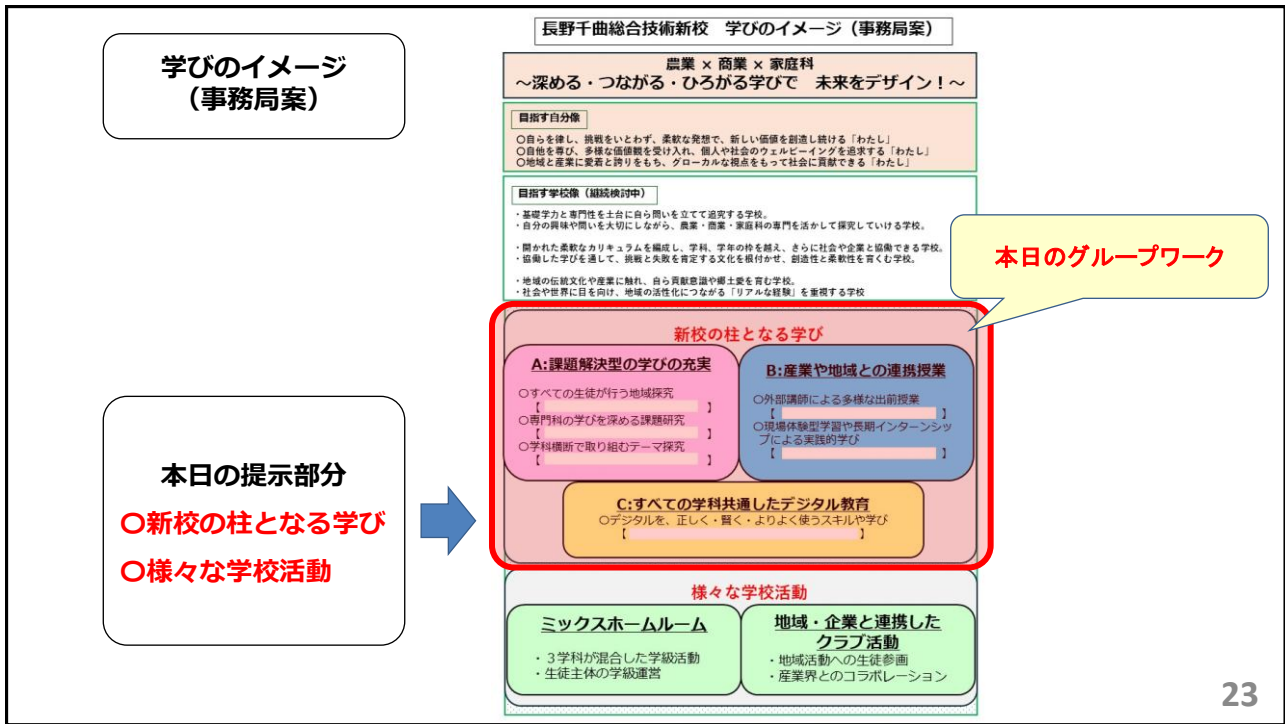
(2) 長野千曲総合技術新校

学びのイメージ 意見交換

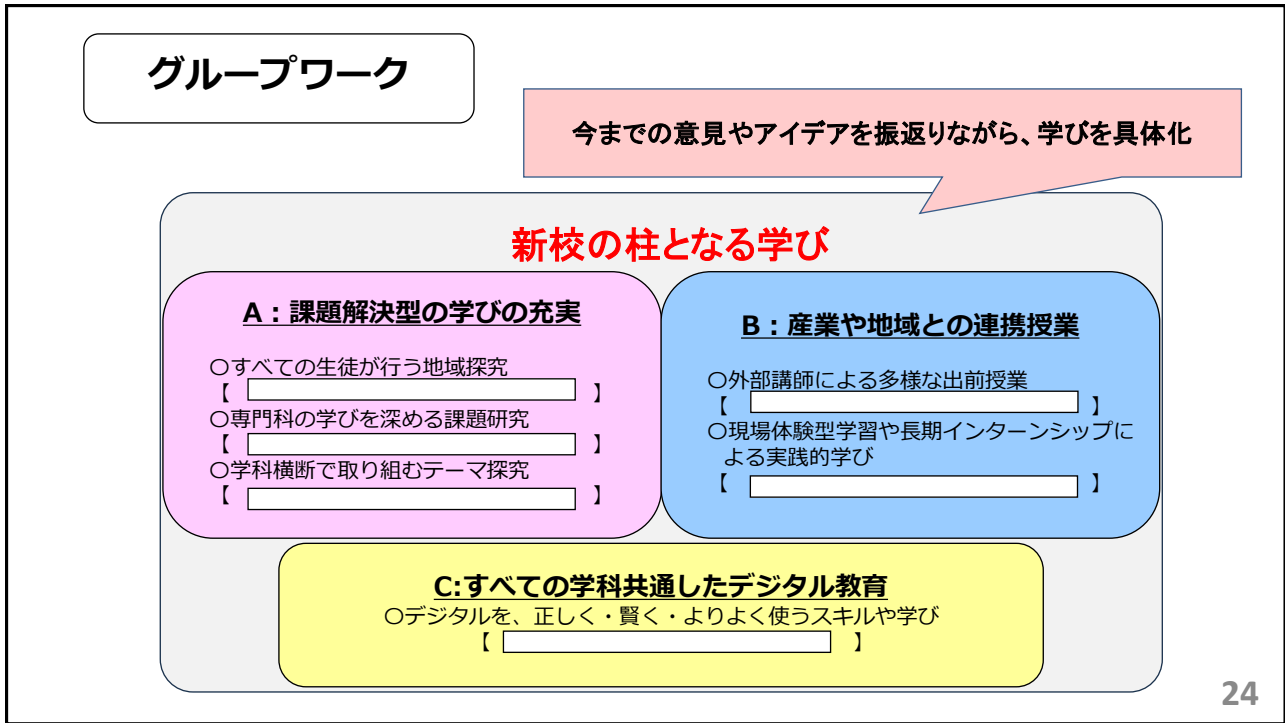
④「学びのイメージ」

意見交換（グループワーク）





23



24

グループワークの進め方

●グループでの活動

ア 「ご意見・アイデアまとめ」も参考に、具体的な意見やアイデアを記入し、模造紙に貼る

- 『A：課題解決型の学びの充実』 ⇒ ピンク色の付箋
- 『B：産業や地域との連携授業』 ⇒ 青色の付箋
- 『C：すべての学科共通したデジタル教育』 ⇒ 黄色の付箋

イ 意見交換

○模造紙に貼った意見を発表し、その意見に対して他のグループメンバーからも意見を出していただく。

○OA、B、Cそれぞれについて、10分ずつを目安に意見交換を行う。

●全体会〔15分〕

- 各グループからの発表（各グループ2分×6グループ）

25

◆長野千曲総合技術新校再編実施計画懇話会

5 その他

6 閉 会



26

長野千曲総合技術新校の学びについて ご意見・アイデア まとめ

(今までの懇話会より 抜粋)

●学科横断・総合技術校ならではの学び

- ・ 6次産業を意識した学校
- ・ 総合技術高校ならではの学科連携にもとづいた探究的な学びを地域と共に進めていく学校
- ・ 学科をまたいだ学習のある学校、専門科目と連携した学びができる学校
- ・ 農業科・商業科・ライフデザイン科がミックスされた学校
- ・ ワンキャンパスで他学科と合同実習を行う学校
- ・ 農業・商業・家庭科の専門的な学びはもちろん、教科を横断した学びが実践できる学校
- ・ デザイン、ものづくり、ビジネス、ITで統合的・実践的な学びができる学校
- ・ 受け継いできた伝統と最新技術の融合による新たな価値観を生み出す学び

●探究学習・課題解決型学習

- ・ 探究的な学びを地域と共に進めていく学校
- ・ 探究学習にトコトン取組める学校
- ・ 学科連携と地域社会とを関連づけた深い学びを追求できる学校
- ・ 土地を耕し、作物を育て、加工して、販売する一連の流れを通した学びから、新たな問いが生まれる学校
- ・ 英語、情報、専門科目を中心に大学と連携した探究学習から思考力・判断力・表現力の向上を目指す学校

●DX・情報・先端技術

- ・ 高度なもの、先端的なものに触れられる学校
- ・ デジタル技術の取得と活用（可能な限り最新技術を導入）ができる学校
- ・ バーチャル環境があり、バーチャルを活用する学校
- ・ IT系の先端技術が学べる学校

●地域連携・産業界との連携

- ・ 地域の産業と結びつき、幅広いニーズを探りながら地域と連携した活動を行う学校
- ・ 「学び」を通して地域に貢献する学校
- ・ 持続可能社会の一員として地域に根ざした学びを行う学校
- ・ 卒業生から学ぶ学校
- ・ 企業との連携から実践的にグローバル観の養成を図る学校

●主体的な学び・学びの選択

- ・自由に学びが選べる学校
- ・入学後、変化する興味・関心にも対応できる幅広い選択肢を実現できる学校
- ・生徒自らが学びをコーディネートできる学校
- ・授業内容を生徒が決める学校
- ・くくり募集（入学後に農・商・家の学びが選択できる）
- ・選択がある程度自由にできる学校
- ・入学した生徒が創り上げていく、生徒がやりたいことをやれる学校

●体験活動・実習

- ・授業だけでは味わえない団結や取組の場を積極的に設ける学校
- ・座学より調理実習や実験などが多い学校
- ・生産・加工・販売を学ぶ学校
- ・体験を重視した学校
- ・色々な体験ができる学校
- ・動物の飼育に関する学習内容がある学校

●国際・グローバル

- ・国際的視野を育てる学校
- ・企業との連携から実践的にグローバル観の養成を図る学校

●キャリア形成・資格

- ・資格取得、検定をたくさん取れる学校
- ・起業を学べる学校
- ・夢を実現できるように専門知識を身につけられる学校

●コミュニケーション・交流

- ・様々な交流を通してコミュニケーション力、積極性などが培われる学校
- ・学習の他にも日常生活で学年を超えた交流のある学校
- ・それぞれの科が1年に1～2回学習した内容を発表し合う学校

①連携アイデア

○地域資源を活用した学習

- ・実際にまちを歩き、地域の人々との対話や現場での体験を通して、地域への理解と愛着を深める体験学習
- ・商店、企業、地域施設等への訪問やインタビューなどを通して地域課題を発見し、その解決に向けた提案を行う探究学習
- ・地域の取材活動を通して、高校生の視点から地域の魅力や価値を発見し、広く発信する学習
- ・地域の特産物を題材に、生産、加工、流通、商品開発、マーケティング、観光振興等を総合的に学ぶ、学科横断的な探究学習

○地域の活動への参加

- ・地域イベントや伝統行事への参加を通して、地域とのつながりを深め、地域を盛り上げる活動
- ・地域住民と協働し、地域イベントの企画や運営に参画する活動
- ・自治体や地域団体との意見交換を通して地域課題を発見し、高校生の視点から提案を行う活動
- ・ボランティア活動や高齢者へのデジタル活用支援などを通して、地域の課題解決に取り組む活動

○企業・産業との連携

- ・企業による出前授業を通して、地域産業の特色や仕事内容、地域企業の多様性について理解を深める学習
- ・経営者や実務者との交流や対話を通して、働くことや経営について考える学習
- ・企業や産業界の専門家から各分野の先端技術や最新動向を学び、DXや他分野とのつながりについて理解を深める学習
- ・企業と連携し、年間を通じた継続的な協働活動に取り組む学習
- ・企業が抱える課題を題材に、その解決方策を探究し提案する学習
- ・長期間のインターンシップを通して、産業や仕事の実際を体験し、理解を深める学習

○地域の学校等との連携

- ・清泉大学農学部や農業大学校等との連携を通して、高度で専門的な知識や技術に触れる学習
- ・高校生が小学生や中学生に出前授業を行い、高校での学びの成果や学校の特色を発信する活動
- ・稲荷山支援学校との交流や協働を通して、多様性への理解を深める学習

②学びのアイデア

○高校で育んでほしい力

- ・課題解決型の探究学習等を通じた、課題発見力、発想力、提案力、実践力
- ・変化する社会に対応するための、思考力及び課題解決力
- ・様々な人々と協働するための対人コミュニケーション力、対話力及び発信力

○デジタル社会に対応する情報活用能力の育成

- ・全ての分野に共通し必須となる基礎的素養として、学校全体でのデジタル教育の推進
- ・変化の激しいデジタル社会に対応するため、新校におけるデジタル教育の在り方については、現時点では固定化せず、社会の変化や技術の進展を踏まえながら柔軟に検討
- ・産業界や大学等の外部講師による、農業 DX、商業 DX、家庭分野におけるデジタル活用など、各分野の実情や時代の変化に応じた DX の在り方についての学習
- ・デジタル技術や AI を効果的なツールとして活用し、課題解決力を育成する探究学習の実施
- ・情報モラル教育や情報リテラシー教育、デジタル・シティズンシップ教育の充実を図り、デジタル社会における責任ある行動や適切な判断力の育成

○総合技術高校としての特徴ある学び

- ・農業、商業、家庭分野を横断し、新たな価値を創造する力の育成
⇒ 生産、加工、商品開発、販売、消費をつなぐ一貫した学び
- ・産業界等の外部人材と連携し、産業界の変化動向や伝統的技術および最先端の技術に触れる専門教育
- ・長期インターンシップや長期デュアルシステムを通じた、職業や産業の魅力を体感する学び
- ・「何をつくるか」だけでなく、「誰のためにつくるか」を重視し、利用者や消費者の視点から価値を考える学び
- ・技術や知識の習得とあわせた、倫理観の育成
- ・多様な価値観を尊重し、合意形成を学ぶ主権者教育

○地域とともにある学校としての機能

- ・学校の教育活動や生徒の活躍、地域や企業との連携の様子などを積極的に発信する、地域に開かれた学校
- ・地域と学校、人と人をつなぐプラットフォーム機能
⇒ 地域情報・人材・活動が集い交流する地域連携拠点、学校地域の双方をつなぐコーディネーター
- ・地域課題の解決や新たな価値創造を担うイノベーション拠点